

平成30年度 第7回下野市教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 平成30年10月18日(木) 午後1時30分～午後4時20分
- 2 場 所 下野市役所3階 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 池澤 勤
職務代理者 永山 伸一
委 員 三橋 明美
委 員 石嶋 和夫
委 員 熊田 裕子
- 4 出席職員 教育次長 坪山 仁
教育総務課長 小谷野 雅美
教育施設整備室長 伊澤 仁一
学校教育課長 海老原 忠
学校教育課課長補佐 田澤 孝一
学校教育課指導主事 稲葉 亜希恵
生涯学習文化課長 手塚 芳子
文化財課長 山口 耕一
スポーツ振興課長 北條 均
教育総務課課長補佐 古橋 栄一
- 5 傍聴人 な し
- 6 議 案
議案第34号 平成31年度小・中学校職員定期異動における下野市の重点目標について
- 7 協議事項
(1) 都市計画審議会委員の推薦について
- 8 報告事項
(1) 教育委員会後援等の承認について
(2) 平成30年度中学校新人大会の主な結果報告について
(3) 平成30年度学校教育サポートセンター上半期事業報告について
(4) 第13回下野市民体育祭運動会(石橋地区・国分寺地区)及び第10回南河内スポーツフェスティバルの結果報告について
- 9 討 議
「下野市における小中一貫教育グランドデザインについて」

池澤教育長	<p>教育長挨拶及び報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月28日～9月30日の日程でグリムの森フェスティバルが開催された。 ・ 10月3日にお米の贈呈式が行われ、JA およまから管内小中学校にコシヒカリ 330 kgが寄贈された。それとは別に5 kgのお米10袋もいただいたため、こちらはNPO 法人ポポの木に寄贈した。 ・ 10月7日に市内各地区において市民体育祭及びスポーツフェスティバルが開催された。詳細については、後ほどスポーツ振興課長から報告させていただきます。 ・ 10月10日に下都賀地区教育委員会連合会の定例会が行われ、永山委員とともに出席した。 ・ 10月13日より市民文化祭が始まった。82団体、1,133人が参加し10月28日まで実施される。 ・ 10月15日から児童表彰が始まった。石橋北小学校を皮切りに11月16日まで市内各小学校において順次実施され、今年度は529名にメダルと賞状を授与する。 ・ 10月16日に石橋北小学校の校長であった内田榮一氏の死亡に伴う叙位の伝達を行った。
池澤教育長	<p>報告内容について質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>次に、議事録署名委員の指名 永山委員及び三橋委員</p> <p>続いて、第6回教育委員会定例会議の議事録について確認をお願いします。</p> <p>訂正等があれば発言を求める。(特になし)</p> <p>議事録はこのとおり承認とする。</p> <p>議案に入る旨を伝える。</p> <p>議案第34号「平成31年度小・中学校職員定期異動における下野市の重点目標について」説明を求める。</p>
海老原学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <p>「平成31年度小・中学校職員定期異動における下野市の重点目標(案)」に基づき、昨年度からの変更点を中心に詳細な説明を行う。</p>
池澤教育長	<p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>このとおり決定してよろしいか。(全委員承認)</p> <p>議案第34号は原案どおり決定する。</p> <p>次に、協議事項に移ることを告げる。</p> <p>(1) 都市計画審議会委員の推薦について説明を求める。</p>
小谷野教育総務課長	<p>【説明要旨】</p> <p>現在、熊田委員が務める都市計画審議会委員の任期が10月31日をもって満了となるため、都市計画課から学識経験者枠として、教育委員から1名の推薦(可能であれば女性委員)依頼があった旨の説明を行う。</p>
熊田委員 池澤教育長	<p>皆様からご承認いただければ、私が引き続きお受けしたい。</p> <p>それでは、熊田委員を推薦することによろしいか。(全委員承認)</p>

<p>小谷野教育総務課長</p>	<p>次に、報告事項に移ることを告げる。 (1) 教育委員会後援等の承認について説明を求める。 【説明要旨】 「下野市教育委員会後援等承認一覧」に基づき、10月現在で4件の承認をした旨の報告を行う。4件とも後援であるが、うち1件は教育長賞の交付となっている。No.4の新規を除きいずれも過去に実績がある団体である。</p>
<p>池澤教育長</p>	<p>質疑等はあるか。(特になし) 続いて、(2)平成30年度中学校新人大会の主な結果報告について説明を求める。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>【説明要旨】 「県新人大会結果」一覧に基づき、平成30年度中学校新人大会の戦績報告を行う。3年生が引退し、1年生と2年生で構成される新たなチームで挑んだ大会である。</p>
<p>池澤教育長 石嶋委員</p>	<p>質疑等はあるか。 資料の中に部員数が記載されているので、現状が把握できて大変ありがたい。学年ごとに人数の推移を見ていくと、部活動の種類によって人数を確保することが益々困難になってきている現状が読み取れる。</p>
<p>池澤教育長</p>	<p>その他、質疑等はあるか。(特になし) 続いて、(3)平成30年度学校教育サポートセンター上半期事業報告について説明を求める。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>【説明要旨】 「平成30年度上期相談ケース数および相談総数」の資料に基づき、学校毎の相談数や相談内容について詳細な説明を行う。</p>
<p>池澤教育長 石嶋委員</p>	<p>質疑等はあるか。 相談件数が増えてきているという要因として、思い当たることがあれば教えていただきたい。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>相談先についての周知に加え、相談体制が充実してきたことが大きいと考えている。在籍の子どもたちについては、まず学校へ連絡することになっているが、学校から専門相談機関であるサポートセンターへ繋ぐケースが増加している状況である。また、就学前の子どもたちについては、親同士の情報交換や「こぼと園」との連携が活発になってきたことも一因と捉えている。</p>
<p>池澤教育長 石嶋委員</p>	<p>その他、質疑等はあるか。 不登校の児童について、本人と直接会うことができなくても家族とは連絡が取れる体制になっているのか。また、拒否されて全く連絡が取れない家庭はあるのか教えていただきたい。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>現在のところ音信不通や全くの拒否といった家庭はない。資料No.13のケースは、学校にもスマイル教室にも登校していない子だが、スタッフが何度も自宅訪問して本人と会話を続けた結果、来年度から学校に行きたいという言葉が聞けるようになったという事例である。</p>
<p>池澤教育長</p>	<p>その他、質疑等はあるか。(特になし)</p>

<p>北條スポーツ振興課長</p>	<p>続いて、(4) 第13回下野市民体育祭運動会(石橋地区・国分寺地区)及び第10回南河内スポーツフェスティバルの結果報告について説明を求める。</p> <p>【説明要旨】</p> <p>「第13回下野市民体育祭運動会及び第10回南河内スポーツフェスティバル結果報告」の資料に基づき、詳細な報告を行う。</p> <p>南河内地区において熱中症で緊急搬送された者がいたが、大事には至らなかった。</p>
<p>池澤教育長 熊田委員 北條スポーツ振興課長 池澤教育長</p>	<p>質疑等はあるか。</p> <p>南河内地区の熱中症はどの競技の時に生じたのか。</p> <p>グランドゴルフである。</p> <p>国分寺地区でもけがをされた方が2名いたが、三橋委員の指示もあり、救急体制が整っていたため大事には至らなかった。</p> <p>その他、質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>次に、討議に移ることを告げる。</p> <p>(1) 下野市における小中一貫教育グランドデザインについて説明を求める。</p>
<p>田澤学校教育課長補佐</p>	<p>【説明要旨】</p> <p>下野市における小中一貫教育の概要及び市内4中学校区における「平成30年度小中一貫教育グランドデザイン」について、各中学校区の特徴について説明を行う。</p>
<p>池澤教育長 永山委員</p>	<p>質疑等はあるか。</p> <p>これらの資料は設置権者、教育委員会あるいは先生方から見た場合は、小中一貫になじみがあるため、何をを行うかがわかりやすくまとめられていると思う。しかし、一般市民の方や保護者の方が見ることを視野に入れると、なぜ小学校6年間と中学校3年間で繋げて9年間の教育にするのか、メリットやデメリットは何か、小中一貫教育により何が変わるのかといった説明が欠けてしまっているように感じる。</p> <p>また、小中一貫教育を行うにあたっては、何か成果を上げなければならないと思うが、石橋中学校区、南河内第二中学校区についてはそれが示されていないため、名目だけになっている。改めて、何のために小中一貫教育を進めるのかの部分について補足説明をお願いしたい。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>これまでは、小学校6年間と中学校3年間が完全に分かれた状態で、学びの場が設定されていたため、中学校への進学の際に「中一ギャップ」が生じたり、学習面での繋がりや子どもの情報がきちんと引き継がれていない場合などがあった。そのような状況をなくし、中学校に行ってから子どもたちの生活をより良くすることを一つの目標としている。そのために小学校の段階から、9年後の中学校卒業時点を目標に、先生方も意識を変えて教育を行っていかうとするのが小中一貫教育である。保護者の方にも、ぜひ同じ意識をもっていただいて、小学校に入学した時点で中学校卒業までの姿を思い描</p>

<p>永山委員</p>	<p>きながら、子どもを育てていただきたいと考えている。</p> <p>中一ギャップの解消、学習面での繋がり、情報の引き継ぎという3つが大きな目標であるとすれば、小学校と中学校間で上手く繋ぐために、具体的にどのようなことをするのか、また、小学校と中学校の関係が具体的にどのように変わるのかを次の段階として示していかなければならないと思う。</p>
<p>田澤学校教育課長補佐</p>	<p>ただ今、永山委員にお示しいただいたことを基に、グランドデザインを具体的な内容として説明できるように直していきたい。</p>
<p>永山委員</p>	<p>制度を変える際には、最初に問題点を提示し、解決策を出すというような手順をとると理解しやすいと思う。</p>
<p>田澤学校教育課長補佐</p>	<p>原点に戻って考えていきたい。</p>
<p>永山委員</p>	<p>保護者の方にも分かりやすいように、例えば学習の繋がりについては小学校における英語の教科化について説明するなど、具体的に示していただきたい。</p>
<p>池澤教育長</p>	<p>これまで子どもの情報は、6年生が小学校を卒業した後、小学校から中学校へ個別カードを持っていくことによって引き継がれていた。しかし、情報を受け取った先生が4月1日から別の学校に異動が決まっていたとしても、それを受けざるを得ない状況であった。4-3-2の学年の区切りを設けることにより、小学校と中学校の間で常に情報を共有できるようにしていくことが重要である。</p>
<p>稲葉学校教育課指導主事</p>	<p>今年度から小中一貫の日ということで、各学校区で先生方に集まっていたが、このグランドデザインを作るにあたって、先生方には試行錯誤しながら、かなりの時間をかけていただいた。本年度の成果としてはこのような形で報告させていただいたが、2月にハンドブックを再度修正する際には、取り組んだ内容が良い成果として浮き上がってくるような内容にしたいと考えている。</p>
<p>永山委員</p>	<p>資料として、このフローチャートが独り歩きをすることはあるのか。</p>
<p>田澤学校教育課長補佐</p>	<p>教育委員会で作った資料の後ろに付けて、各学校区の保護者には配布されている。</p>
<p>稲葉学校教育課指導主事</p>	<p>各学校の特色を出して、保護者の方や地域の方の目線のパンフレットにしていこうという方向にはなっている。</p>
<p>永山委員</p>	<p>フローチャートだけで表現するのは難しいと思うので、具体的な部分については文章で示すべきだと思う。また、小中一貫教育の推進に至った経緯については、その都度示すべきではないか。</p>
<p>池澤教育長</p>	<p>その他、質疑等はあるか。</p>
<p>熊田委員</p>	<p>9年間で3つの区切りにすることに関して、南河内第二中学校のグランドデザインには記載がないことが気になった。南河内中学校区においては、義務教育学校ができる関係で小中一貫教育が周知されていると思うが、他の中学校区においては、小中一貫教育によって何が変わるのか十分理解されていないと思うので、統一性があつたほうがいいのではないか。また、中学校において大きなウエイトとなっている「部活動」についての記載もお願いした</p>

田澤学校教育課長補佐	<p>い。</p> <p>来年の2月に行われる小中一貫の日でリニューアル版を検討する際に、4-3-2の3つの区切りにおける到達目標について示すよう各学校にお願いする予定である。部活動については付け加えていきたい。</p>
池澤教育長 三橋委員	<p>その他、質疑等はあるか。</p> <p>来年度版は、施設分離型のところこそ小中一貫の教育で、メリットがあるのだということをもっと出していかなければならないのではないか。</p>
田澤学校教育課長補佐	<p>これまでの取り組みと今年度の取組を含めて具体的な部分が薄いと感ずるので、そこについてはわかりやすく入れる方向で作っていく。</p>
石嶋委員	<p>何のために小中一貫教育を行うのかということに関してまとめたものがこのフローチャートであると思って見せていただいた。具体的にはどのような方策をとっていくのかは、これから各中学校区の先生方が決めていくものだと考えている。具体的に何をするのかという部分では、学校により方策の大きさが異なっている。例えば心の教育の中で道徳教育の充実という言葉がたくさん使われているが、道徳教育だと少し広すぎるのではないかと思う。全体計画から徐々に方策の大きさが整えられて、より具体的になっていくのではないだろうか。永山委員のご意見のとおり、学校の関係者でないと読み取れない部分が見られるが、今後、具体的な方策が表れてくることで、わかりやすいものになっていくのではないか。</p>
稲葉学校教育課指導主事	<p>例えば南河内中学校区などは道徳部会といった部会があり、部会ごとに推進計画を作るなどの動きが見られる。しかしながら、全体計画の策定は教務主任が担うことになっているが、全部会の取りまとめで精いっぱいな状況であるため、更にわかりやすくというところまで進んでいない。</p>
石嶋委員	<p>永山委員が懸念しているように、作ってしまったから動かさないということでは困るので、作りながら実態を見て、より具体的なものにしていただきたい。この全体計画に縛られすぎてしまうと実態と乖離してしまうので、「何をやるのか」というまとまりをある程度示していただきたい。</p> <p>南河内第二中学校区の「学び」の項目には、「思考過程の見えるノートづくり」という記載があり具体的でとても分かりやすい。子どもは算数の授業で間違えたと思うとすべて消してしまうことが多い。そうすると、自分がどのように考えたのか思考過程がわからなくなってしまうので、思考過程の見えるノート作りは良い発想である。</p> <p>一方で、「学力調査の分析を活かした授業改善」というのは、何をすることが見えてこない。具体的に見える部分と見えない部分があり、方策の大きさが異なっているので読み取りづらい。すぐに調整するのは難しいと思うので、先生方の話し合いの中で決めていくべきだと思う。</p>
池澤教育長	<p>ただ今の石嶋委員の意見を踏まえ、「H30年-H31年度 下野市小中一貫教育推進計画」について説明をお願いする。</p>
田澤学校教育課長補佐	<p>資料に基づき推進計画（案）の概要について説明を行う。</p> <p>今後の流れとしては、教務主任が中心となるプロジェクト委員会において</p>

永山委員	<p>全体構想等を2月頃までに作成し、併せてハンドブックについてもいただいた意見を踏まえながら修正していく予定になっている。平成31年度4月からは、新しくリニューアルしたハンドブックや各中学校区の全体構想を示し、下野市全体として、本格的に小中一貫教育を進めていくという流れである。推進委員会は、各学校の学習指導主任等の先生方が中心となっている部会であるが、各部会の推進シートをまとめ、それを参考にハンドブックを修正していく。また、各中学校区においては小中一貫の日を進めており、各中学校区の取り組みを振り返ったり、次の計画を作っていくことになる。全体として、平成31年度に下野市の小中一貫教育はスタートを迎えるが、PDCAサイクルをうまく回しながら、小中一貫教育をより定着させていく。</p>
田澤学校教育課長補佐	<p>ハンドブックの試案については現時点で出来ており、それを見直していくという理解でよろしいか。</p>
永山委員	<p>ご指摘の通りである。</p>
田澤学校教育課長補佐	<p>ハンドブックは、誰のため作られるものなのか教えていただきたい。 主な対象は教職員であり、具体的にどうするのかを示したものがハンドブックであり、それが全体計画となる。今後はホームページの方にも掲載し、保護者や市民の方にも見てもらう予定である。</p>
永山委員	<p>今日の資料は、保護者の方に見ていただく概要版ということか。</p>
田澤学校教育課長補佐	<p>その通りである。</p>
永山委員	<p>推進シートというものはハンドブックにも入るのか。</p>
稲葉学校教育課指導主事	<p>現時点では入っていないが、来年度は入る予定である。推進シートには石嶋委員からご提案のあった具体的なものが書かれることになる。</p>
池澤教育長	<p>これからまた修正するということである。その上でホームページに掲載する。ハンドブックを読めば、なぜ必要なのか、どのように行うかなどが具体的に示されることになる。そこから抜粋したものが今回配付させていただいた資料であり、これまで350名の教職員が練り上げてきたものになる。下野市の小中一貫教育推進のためには、今後、市民向けのシラバスをつくる必要があると考えている。</p>
稲葉学校教育課指導主事	<p>ここで、英語教育における小中一貫教育の具体的な取組となる「しもつけ未来学習」のテキストについて説明をお願いする。</p>
池澤教育長	<p>【説明要旨】</p>
石嶋委員	<p>「しもつけ未来学習(案)」に基づき、小1から中3まで英語の授業での活用等について説明を行う。</p>
稲葉学校教育課指導主事	<p>質疑等はあるか。</p>
石嶋委員	<p>英語の時間については、小学1・2年生は空いている時間で10時間、3・4年生は20時間、5・6年生は35時間という理解でよろしいか。</p>
稲葉学校教育課指導主事	<p>来年度のことを申し上げますと、3・4年生が35時間、5・6年生が70時間、中学生が週4時間で140時間となる。</p>
石嶋委員	<p>本当にそれだけの時間を活用するとなると、ALTだけでは間に合わないと思う。担任にも積極的に関わってもらわなければならないのではないか。</p>

<p>稲葉学校教育課指導主事 熊田委員</p>	<p>先生方には夏休みからこのテキストを使った研修を行っている。 小学1年生から中学3年生まで使うということなので、漢字のふりがながふってあるところとないところがあるが、小学1年生・2年生でも、興味のある子はこの冊子を全部読むのではないかと思うので、最後の先生の活用するところと中学生の活用するところを除いて、ふりがなをふってみてはどうか。</p>
<p>海老原学校教育課長 田澤学校教育課長補佐</p>	<p>業者と調整してみたい。 下野のふるさと学習の一環として考えられる資料は入れているが、教育委員の目で見えて入れた方がいいという資料があればご意見を伺いたい。</p>
<p>永山委員</p>	<p>人口とか面積といったものを英語で表現すると役に立つと思う。外国の方と話すと数字を出してくるが、私たち日本人は数字がでてくると混乱してしまうことがあるので、資料に入れると便利だと思う。その他にも産物の出荷量などを入れてみてもよい。また、外国ではマイルなど単位も異なるので、そのような資料が入ると面白い。</p>
<p>石嶋委員</p>	<p>市内には駅が3つあり、みんなよく知っていると思われがちだが、車を活用することが多いので、駅の使用頻度は低いかもしれない。道の駅はあるが、行ってない子もいるかもしれない。そういう子のために資料 29 ページにある地図に道の駅のこと、道の駅がどのような建物かということを入れてみてもよいと思う。</p>
<p>稲葉学校教育課指導主事</p>	<p>写真などはいかがか。30・31ページの「下野市に関連した単語」にもどのような写真を入れたらいいか迷った部分がある。小学校は社会科の副読本があるので、それを授業で使いながら、わからないところをALTに聞くようにしたいと思う。また、検討段階では表現が苦手な人にとっては資料内にある「おたすけシート」があった方がいいという意見もあった。</p>
<p>石嶋委員</p>	<p>「おたすけシート」はいいアイデアだと思う。先生達にとっても「おたすけシート」は重要だと思う。</p>
<p>池澤教育長</p>	<p>話は尽きないと思うが以上で討議を終了する。 次に、その他に移ることを告げる。</p>
<p>海老原学校教育課長</p>	<p>(1) 第2回下野市プログラミングコンテストについて説明を求める。 【説明要旨】 第2回下野市プログラミングコンテスト実施要項に基づき、コンテストの日程やテーマ等の説明を行う。昨年度は半日であったが、今年度は全校参加のため、1日行うこととなった。チーム数は未定のため、終了時間は確定していない。</p>
<p>池澤教育長 海老原学校教育課長 池澤教育長 海老原学校教育課長</p>	<p>開会式での主催者挨拶は、市長のみでよいのではないかと。 ご指摘の点は訂正させていただく。 その他、事務局から何かあればお願いする。 7月24日に予定していたが延期された市内小学校の陸上記録会が、11月1日の午後に栃木の陸上競技場で開催される。時間短縮のため、開会式等は行わずに競技のみを行うことを予定している。</p>

北條スポーツ振興課長	<p>第77回国民競技体育大会準備委員会の定期総会を11月12日16時から約1時間程度開催する。お手元に総会の開催通知と委任状が同封されているのでご確認いただきたい。約120名の組織となるが、欠席の場合は委任状の提出をお願いしたい。来年度以降も総会があるので、逐一報告させていただく。</p>
池澤教育 三橋委員 小谷野教育総務課長	<p>その他、質疑等はあるか。</p> <p>国分寺西小学校が閉校となるが、現在の経過について教えていただきたい。</p> <p>昨年度作成した、再編までの計画に基づき、国分寺西小運動会、西小祭、夏季の思い出行事等、学校中心に閉校記念行事を進めてきた。小小連携については国分寺西小学校の子どもたちが国分寺小学校に出向き、3、4時間目の授業を一緒に受け給食を食べる交流事業が7月に行われた。インターネット回線を利用したPC電話スカイプを活用した交流事業も実施したところである。スクールバスに関しては、保護者説明会を2回行い、ルートの設定や停留所について説明を行い、どこから乗るかの希望アンケートも実施した。</p> <p>10月30日に平成30年度第1回の学校適正配置推進協議会を開き、今年度前半の記念事業やスクールバスの運行に関して報告する予定である。その内容は、11月8日の保護者と地域住民の説明会においても、再度報告する予定である。詳細については、次回の教育委員会においても報告させていただく。</p> <p>また、11月29日から始まる12月議会において、国分寺西小学校の廃校に関する議案を提出する予定である。その前には常任委員会、全員協議会において地元の方にも説明した内容で議員にも説明させていただく。1月には下都賀教育事務所を経由して栃木県教育委員会に「学校廃止届」を提出することになる。スクールバスについてはマイクロバス2台を予定しているが、12月の議会において債務負担行為を計上する予定である。</p>
池澤教育	<p>その他、質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>次回の教育委員会は、11月15日（木）午後1時30分からの予定とする。本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後4時20分閉会。</p>